

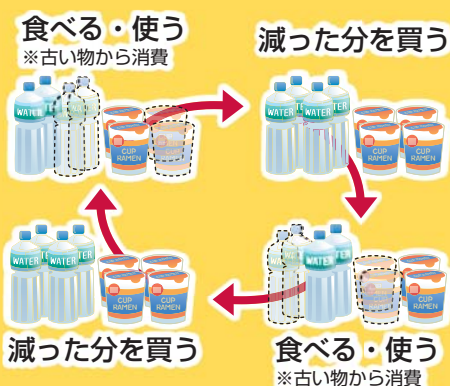


今からできる地震への備え

地震発生後は、自宅が無事でも電気・ガス・上下水道等が使えないことがあるほか、物資の供給が止まると、食料等の確保が難しくなります。また、地震が発生した際にけが等から身を守るため、日ごろからの備えが大切です。

7日分の備蓄で命を守る

日ごろから使用している食料品や生活必需品を少し多めに購入しておく「日常備蓄」により7日分の備蓄を進めるとともに、災害時に特に必要となるものを備えておきましょう。



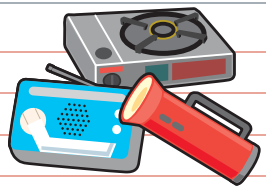
7日分の備蓄量の目安（大人一人当たり）

- ▶ 飲料水 3ℓ（1日当たり）× 7日分 = 21ℓ
- ▶ 食料 3食（1日当たり）× 7日分 = 21食
- ▶ 携帯トイレ 5回（1日当たり）× 7日分 = 35回分

日常備蓄リスト

リストは一例です。家庭の状況に合わせて、備えましょう

- | | | |
|-------------|------------------------|--------------|
| 食品・飲料 | □ 水（飲料水、調理用等） | □ 主食（無洗米、麺等） |
| | □ 主菜（肉・野菜等の缶詰、レトルト食品等） | |
| | □ 缶詰（果物等） | □ 野菜ジュース |
| | □ 菓子類（チョコレート等） | □ 栄養補助食品 |
| | □ 調味料（しょうゆ、塩等） | |
| 生活用品 | □ 持病の薬・常備薬 | □ 使い捨てカイロ |
| | □ ライター | □ 乾電池 |
| | □ ごみ袋・大型ビニール袋 | |
| 衛生用品 | □ ティッシュペーパー | □ トイレットペーパー |
| | □ ウェットティッシュ | □ 生理用品 |
| 災害時に特に必要なもの | □ カセットコンロ | |
| | □ 懐中電灯 | |
| | □ 携帯トイレ | |
| | □ 充電式等のラジオ 等 | |



出火から身を守る

65歳以上のみの世帯に対して、安全な調理器（IH調理器・Siセンサー付きガスコンロ等）を購入した際の費用の助成を行っています。平成30年度内に購入したものは、3月29日金までに申請してください。

- 【助成内容】 次のいずれかの購入費用の2分の1を助成（助成限度額2万円）
- ▶ IH調理器（IH対応の鍋等の調理器具も2点まで）
 - ▶ Siセンサー付きガスコンロ
 - ▶ 電気フライヤー

【必要書類等】

- ▶ 領収書・保証書の写し（調理器具分も）
- ▶ 本人名義の振込先金融機関名・口座番号が分かるもの ▶ 印鑑

【申込み・問合せ】

高齢者福祉課高齢者福祉係（区役所2階） ☎内線2675



家具類の転倒等

から身を守る

近年の地震被害では、負傷者の3～5割の方が、たんすや本棚等の家具の転倒・落下等で負傷しています。家具の置き場所や置き方を見直し、室内の安全を確保しましょう。区では、家具類の転倒・落下防止器具等の助成を行っています。

【申込み・問合せ】

防災課防災事業係（防災センター2階）
☎内線418



家具の置き場所・置き方のチェックポイント

下記の項目に一つでも当てはまる方は、器具の取り付け・配置の見直しを行いましょう

- 寝室・部屋の出入り口付近・廊下・階段・火気の周辺等に家具類を置いている
- 家具類の上にガラス製品やテレビ等の割れやすいものを置いている
- 重いものを家具類の上のほうに収納している

家の倒壊から身を守る

● 自宅の耐震化

昭和56年5月31日以前に建築された住宅に対して、耐震診断・耐震改修等の費用の助成を行っています。

● 耐震シェルター・防災ベッド

地震で住宅が倒壊しても、寝室や睡眠スペースを守ってくれる装置です。設置工事の費用の助成を行っています。

【申込み・問合せ】

防災街づくり推進課防災街づくり係
（区役所北庁舎2階） ☎内線2826



▲防災ベッド

開成学園と「土砂災害時における近隣住民の緊急避難施設の提供に関する協定書」を締結しました

2月13日、区内にある土砂災害（特別）警戒区域内において、土砂災害が発生または発生するおそれがある場合に、近隣住民が緊急一時的に避難する施設として利用することを可能とするため、開成学園と「土砂災害時における近隣住民の緊急避難施設の提供に関する協定書」を締結しました。



▲左から学校法人開成学園理事長・丹呉泰健氏、西川区長